

SHINAGAWA STATION

KAWASAKI STATION

HANEDA AIRPORT

KING SKYFRONT

HAMAKAWASAKI STATION

南渡田地区へのアクセス

- 「川崎」駅まで
- 電車 「品川」駅から……………直通約 **9分**
- 電車 「横浜駅」から……………直通約 **8分**
- 「京急川崎」駅まで
- 電車 「羽田空港第3ターミナル」駅から…直通約 **13分**
- 「JR南武支線浜川崎」駅まで
- 電車 「川崎」駅から……………約 **11分**
- 南武線「尻手」駅で南武支線(浜川崎行)乗換。
- 徒歩 「浜川崎」駅から……………徒歩 **3分**
- バス 「川崎駅東口」から「JFE前」……………約 **15分**
- バス停から徒歩1分
- 東京方面から
- 首都高速横羽線「浜川崎出入口」から **1分**

※電車による所要時間は日中平常時のもので、乗り換え・待ち時間は含みません。また、時間帯により異なります。
 ※徒歩分数は30mを1分として計算(端数切り上げ)した概測時間です。
 ※車による所要時間は時速40kmで走行した場合で換算し算出したものです。掲載の所要時間等は、時間帯、道路等の混雑状況によって異なります。



お問い合わせ：川崎市 臨海部国際戦略本部 戦略拠点推進室

TEL：044-200-2056

Mail：59senryaku@city.kawasaki.jp

革新的な素材の研究開発拠点
 川崎臨海部 南渡田地区

研究開発拠点として ポテンシャルあふれる川崎臨海部・南渡田地区

01 羽田空港や首都圏に近く、 国内外に好アクセス

JR川崎駅から約3 km、羽田空港から約5 km、首都高浜川崎出入口至近
多摩川スカイブリッジが開通（2022年3月）、更に便利に
※現在、川崎駅からのBRT導入に向けた取組を進めています。

02 原料調達から研究、製造、 市場導入まで一気通貫で実現可能

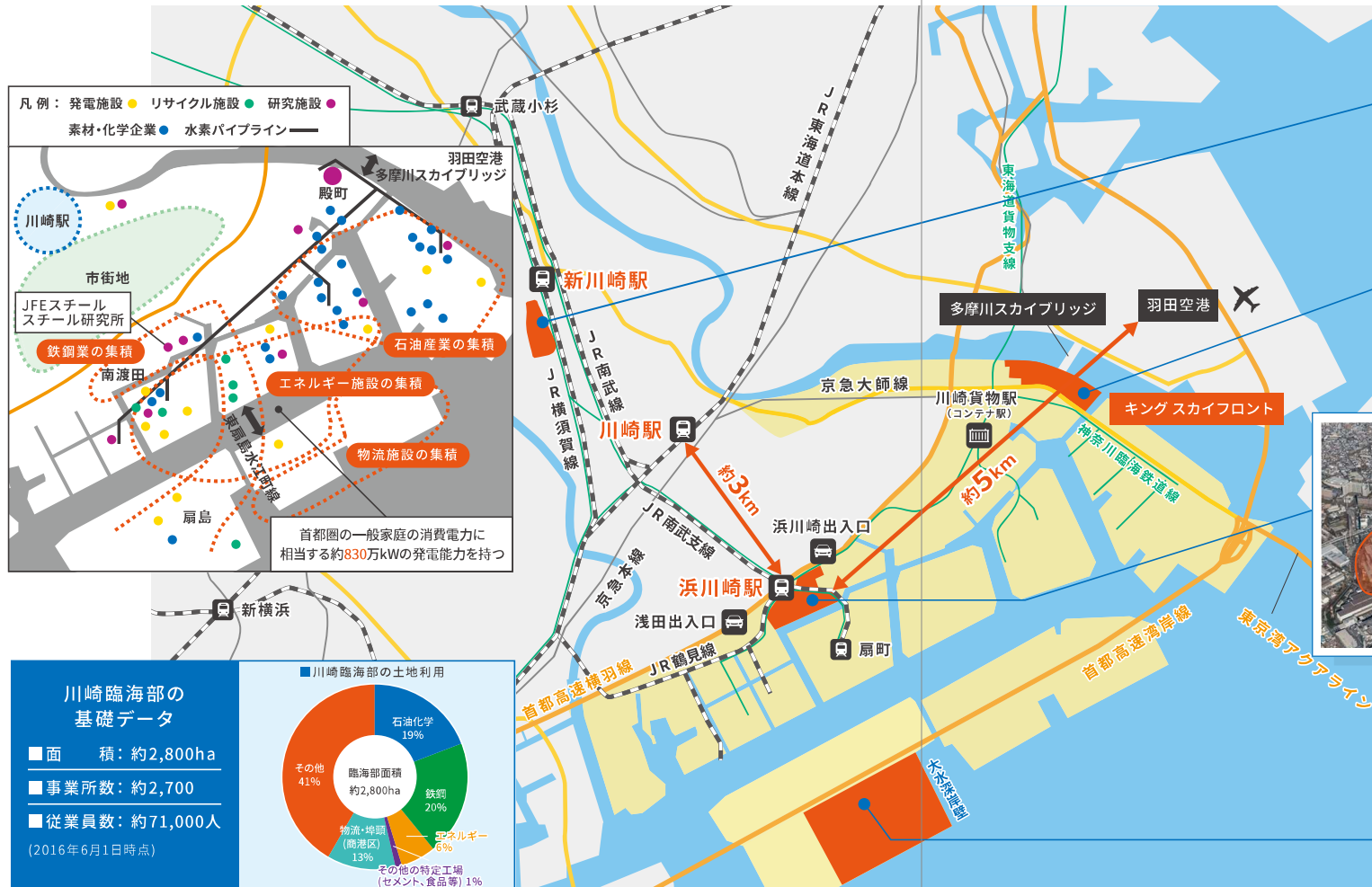
日本有数のコンビナートを形成し、豊富な原料（約90万tのエチレン生産）と安定した電力（約830万kw）供給能力を備え、首都圏にありながら本格的な研究、実験・実証、生産活動を一体で行える環境

03 カーボンニュートラルコンビナート 実現に向けた官民協調の取組が加速

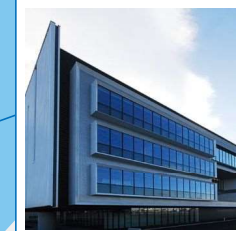
国内最大級の水素配管網・プラスチックリサイクル施設が集積
2022年から官民連携による大規模水素利用の本格検討を開始

04 企業や高度人材の相互連携により 拠点間の相乗効果を発揮

キングスカイフロント（殿町3丁目）にはライフサイエンス・環境分野の研究開発機能が集積
新川崎・創造のもりには日本初のゲート型商用量子コンピューターが稼働



新川崎・創造のもり
産学官の連携による新しい科学技術や産業を創造する研究開発拠点
2021年7月、日本初のゲート型商用量子コンピューターを設置、稼働開始
出典：日本IBM



殿町キングスカイフロント
世界的な成長が見込まれるライフサイエンス・環境分野を中心に世界最高水準の研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション拠点



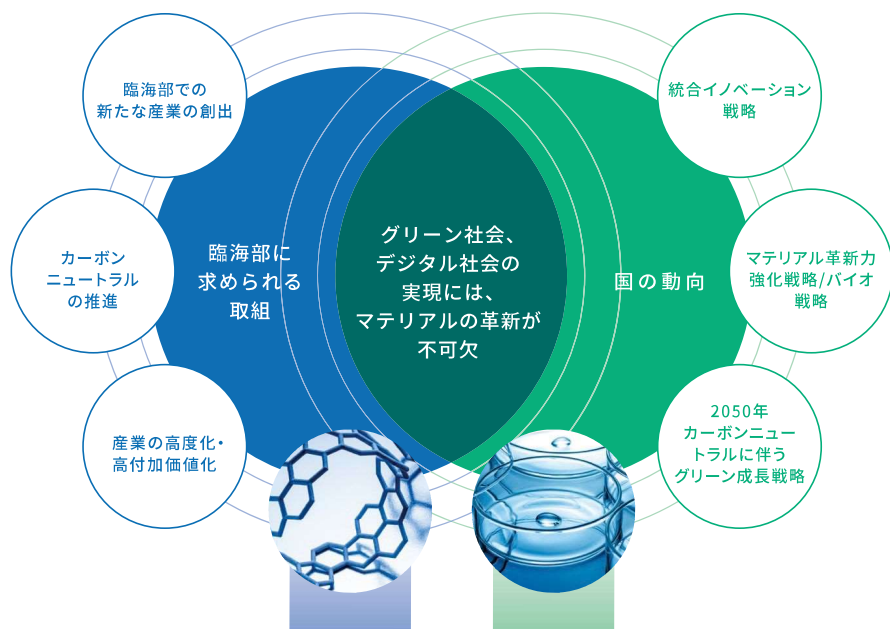
南渡田地区 約52ha
次世代の臨海部を牽引する新産業拠点形成に取り組み
2022年8月に基本計画を公表
都市再生緊急整備地域に指定
金融支援・税制支援等の特例措置が活用可能



扇島地区 約222ha
2023年の高炉休止に伴い200haを超える広大な土地を「脱炭素社会」や「イノベーション創出」を実現するフィールドとすることなどを目指し、土地利用転換の取組が進行中

目指す方向性： マテリアルから世界を変える産業拠点

カーボンニュートラルの推進やマテリアル産業の高度化・高付加価値化に取り組む川崎臨海部とデジタル社会やグリーン社会を切り開くためにマテリアルの革新を目指す国の方向性は、骨格部分で重なり合うことから、川崎臨海部の発展・進化を我が国の社会課題解決及び国際競争力強化につなげるため、南渡田地区はそのトリガーとして、革新的なマテリアルを生み出す研究開発機能の集積により「マテリアル(素材)から世界を変える産業拠点」の形成を進めます。



次世代の川崎臨海部を牽引する革新的なマテリアルの研究開発が
社会課題の解決及び国際競争力の強化につながる

南渡田地区の整備方針
「マテリアル(素材)から世界を変える産業拠点」の形成

一気通貫でつながる産業拠点

川上から川下までの企業が集まる 研究開発拠点

都心に近く、羽田空港が近接する国内外へのアクセス性の高さを活かし、川上から川下までの様々な企業や研究者が集まり、オープンイノベーションを推進する拠点を目指します。



首都圏の中で 本格的な実験・実証が可能

工業地帯であることや約52haに及ぶ広大な敷地を活かし、研究開発の成果を迅速に社会実装につなげるための本格的な実験・実証が可能なエリアです。



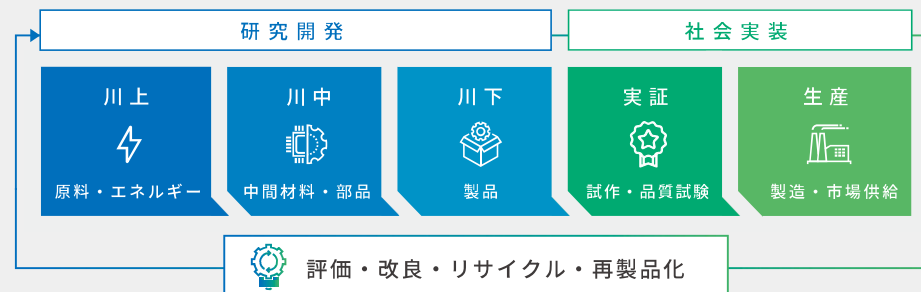
カーボンニュートラルな 生産活動の実現

国内最大級の水素配管網やケミカルリサイクルをはじめとしたプラスチックリサイクル施設の集積等を活かし、カーボンニュートラルな生産活動の実現に取り組んでいます。



※2022年5月に「川崎市カーボンニュートラルコンピナート協議会」を立ち上げ、多くの臨海部企業に参加し、水素等のサプライチェーン形成やCCUS等の炭素循環など、産業集積を活かした面的なカーボンニュートラル化に向けた検討を進めています。

- 川上から川下産業まで集積する研究開発拠点
- 市場至近において最終製品の製造・市場供給までを担うサプライチェーン



土地利用方針

多様な産業機能・産業支援機能の導入を図り、革新的な素材・製品・技術を生み出し社会課題の解決や国際競争力の強化を実現する拠点形成を進めます。



質の高い賑わい機能、憩い・交流機能等の導入により、高度技術を有する企業・研究人材の集積やオープンイノベーションの創出に資する良好な就業環境の形成を進めます。

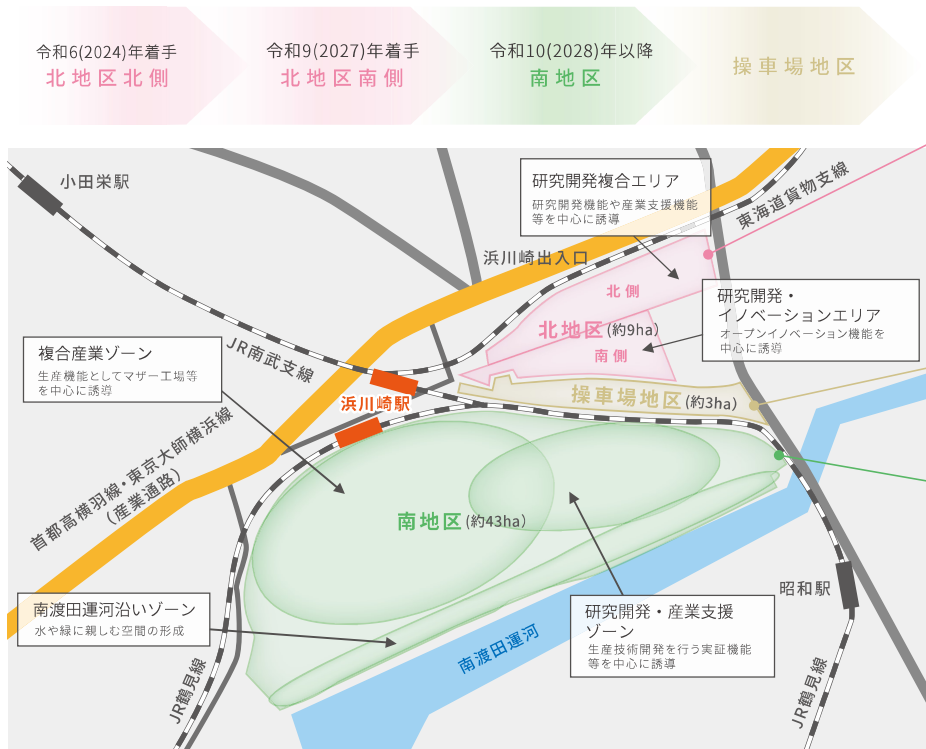


既存産業と親和性が高い様々な機能導入を図り、研究・生産機能の効率化、周辺産業への効果波及や臨海部全体の産業の高度化を先導する拠点形成を進めます。



段階的な整備による拠点形成を目指します

- 北地区の北側から先行して整備を進めます。(令和6(2024)年着手予定、令和9(2027年)一部供用開始予定)
- 北地区南側以降については、段階的な整備を進めていきます。



※早期事業化に向けた区域の設定をエリアとし、想定されるおおよその範囲をゾーンとして示します。
※エリア・ゾーンの誘導イメージを示しており、具体的な導入機能については今後検討します。

研究開発のターゲットと拠点形成の担い手

- 多様な企業・研究機関等の集積・連携により、革新的な素材を生み出す研究開発拠点を目指します。

革新的な素材開発に求められる先端技術

- 先端材料科学
- 半導体技術
- 量子情報科学
- バイオ技術
- 先端エネルギー・蓄エネルギー技術
- センシング技術
- プロセス技術



素材開発ニーズを抱える産業

- 自動車
- 航空機
- 電子機器
- バイオ由来製品
- 先進医療

カーボンニュートラルコンビナートを推進する川崎臨海部のポテンシャル



北地区の土地利用方針

- 拠点形成の核となる研究開発機能を中心とした集積を図り、「マテリアルから世界を変える産業拠点」として、拠点の顔となるにふさわしいまちづくりを推進します。
- 就業環境を向上させる生活支援機能や憩い・交流機能、その他様々な産業支援機能などを複合的に導入し、オープンイノベーションの創出、臨海部周辺地区への効果波及、拠点全体の価値向上等につながる賑わいや魅力の創出を図ります。



操車場地区の基本的な考え方

- 南渡田全体の拠点性の向上に向け、中長期的な線路利用の動向等と調整を図りながら、具体的な土地利用の範囲、機能などについて検討します。

南地区の機能導入イメージ

- 製品サイクルを一気通貫で実現する機能導入を目指します。
- 北地区の研究成果を南地区で製品化する拠点内での連続性や、広大な土地を活用し、柔軟性の高い土地利用により川崎臨海部全体の機能強化につながる拠点形成を目指します。
- 就業者や来訪者が水や緑に親しみ、憩いや潤いを感じられる空間形成を目指します。

企業間のつながりを創出する協議会

市が中心となって協議体を組成し、企業間の連携策やオープンイノベーション推進の枠組み等について議論しながら拠点形成の取組を進めていきます。

